

【5】世知原地域福祉推進会の紹介

どのような団体？

地域福祉推進会は、地域住民の身近な困りごとを把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めている組織です。

世知原地域福祉推進会は、平成19年5月に設立され、地域住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

町内連合会、民生委員児童委員協議会、ボランティア団体、商工会、福祉施設、駐在所、学校など幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

推進会では、地域の福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。現在は、世知原地区の福祉問題の把握と、その解決に向けた話し合いの場として定例会を開催しています。設立間もないこともあり、本格的な活動はこれからになりますが、誰もが住みやすい福祉のまちづくりのために、地域の皆さんと一緒に活動していきますので、ご協力をお願いします。

【6】世知原地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい世知原のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成19年11月10日（土）

内 容：●お茶の間クイズ、地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは世知原地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う世知原地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。



第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！

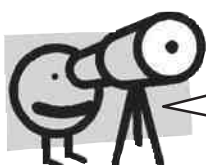
～ 小さなことでも地域のために ～

日程：平成19年12月8日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム

●気になり具合診断

●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの意識が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

参加した皆さんから出された意見

【第1回】地域の“よかところ”“気になるところ”を出し合いました。

【よかところ】

- よくあいさつをする
- おいしいお茶がとれる
- 空気が澄んでいる

【気になるところ】

- 交通（バス）の便が悪い
- お店が少ない
- 人口が少なくなっている

【第2回】“気になるところ”をみんなで解決するためのアイデアを話し合いました。

【問題】

防犯灯が少なく夜道が暗い



【“みんなにできること”の意見】

- 小中学生に暗いと思う所を聞く
- 靴やジャージに反射するものをつける
- 夜遅くなる時は、ライトを持って出かける

参加した皆さんの感想から

- ◎世知原をよくしようという思いを皆が持っていることを強く思った。
- ◎このような場でないと、地域の人々と交流することはなかなか出来ない。
- ◎行政に頼るのではなく、やれる事は自分でやろうと思っている人がたくさんいることがわかった。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



まずは、世知原地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。

この“お茶の間トーク”での意見を基に、地域福祉推進会が中心となってまとめた、次のページからの“みんなの力でできること”をぜひ実行していきましょう！

